



## 在宅医療への架け橋となる 地域包括ケア病棟（7階病棟）は その人らしい暮らしを支えます。

当院では、高度急性期病院で急性期治療を終え、直ぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さん、在宅・施設療養中から緊急入院した患者さんに対して、住み慣れた環境である在宅への復帰に向けて、診療・看護・リハビリを行なうことを目的とした病床として地域包括ケア病棟が、7階病棟に34床設けてあります。

地域包括ケア病棟では、在宅復帰をスムーズに行うために、入院時より退院支援看護師が中心となって患者さん

ご本人・ご家族と面談し、患者さん・ご家族の意向をふまえた上で退院に向けての計画を立てていきます。入院中は専従の理学療法士による手厚いリハビリ、看護師によるあたたかいケアを行い、在宅復帰の準備を進めていきます。患者さんの状態及び在宅サービスの準備が整った段階で退院となります。その人らしい暮らしを支えるため、住み慣れた環境に戻っていただくために医師・看護師・理学療法士・管理栄養士・薬剤師・ケアマネジャー等とともに

多職種協働で全面的な支援を行っています。

今後は、在宅介護のご家族の息抜きを考慮して、一時的入院（レスパイト入院）も積極的に行っていきます。なお、ご相談は地域連携センター迄、ご連絡ください。



看護部長  
中垣千寿子



## 院長 メッセージ

Message of the hospital superintendent

2019年1月  
病院長 森下剛久

## 健康寿命延伸への貢献。

高齢者において身体・認知機能の維持と社会活動の継続を妨げる要因は様々です。当院整形外科では転倒・骨折に対する迅速な手術と運動リハビリによる機能回復を積極的に実施し、骨粗鬆症治療やフレイル対策により要因

除去を図っています。また地域包括ケア病棟では住み慣れた環境での生活に戻るためのケア・リハビリや認知症対策を行っています。これらを通じて地域住民の健康寿命延伸に貢献していきたいと思っております。

## 病気の基礎知識

骨粗鬆症の高齢者に多発します。ADL(日常生活動作)が低下し、寝たきりの原因にもなります。

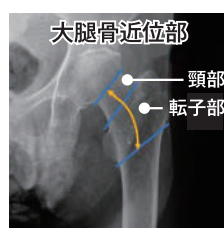
### 高齢者の増加に比例して患者数が増えています。

超高齢社会を迎えた日本では、骨粗鬆症を原因とする高齢者の脆弱性骨折が急激に増加しています。脆弱性骨折とは、若い時に比べて骨が脆弱になり、転倒などの比較的軽い力で起きる骨折のこと。骨粗鬆症になりやすい高齢女性に多いのが特徴です。脆弱性骨折は体のさまざまな部位で起こりますが、なかでも代表的なのが、股関節周辺が折れてしまう大腿骨近位部骨折です。

骨粗鬆症で骨が脆くなった高齢者は、軽微な力でも大腿骨近位部骨折を引き起こしてしまいます。そして、歩行能力が著しく損なわれ、ほとんどの場合、立ったり歩いたりすることができなくなります。



### 骨折する部位によって大きく2つに分かれます。



大腿骨近位部骨折は骨折する部位によって大きく2つに分けられます。大腿部は、一番上の丸い部分が骨頭(こつとう)、その下の細くなった部分が頸部(けいぶ)と呼ばれ、人間の頭と首のような関係になっています。また、頸部とつながる太い部分は転子部(てんしぶ)と呼ばれます。そのため、頸部が骨折するものを大腿骨頸部骨折、転子部の骨折のことを大腿骨転子部骨折と呼んでいます。

どちらの骨折も脚の付け根の骨折という点では同じですが、頸部骨折は非常に癒合しにくいのが特徴です。また、まれに骨折時に骨を栄養する血管が損傷を受けると、頭骨部が壊死を起こすことがあり、転子部骨折に比べて治療が難しくなります。

### 診療部長メッセージ

手術翌日から  
スタッフ全員で  
回復を目指します。

第二整形外科部長  
中川明彦



当院ではスタッフ全員が「回復させよう」という強い意志を持って患者さんと接しています。そのため、必ず手術翌日から動いてくださいと働きかけています。患者さんの中には「つらい」とお感じになる方もいるかもしれませんが。以前は患者さんが痛みを訴えると、すぐに車椅子に乗せるといったこともありました。ただ現在は、患者さんの退院後の生活を考え、全職員が力を合わせながら、痛

みのある中でも体を動かしてもらえようように環境を整えています。また、患者さんと普段接する看護師にも、どれだけ動けるようになったのかをきちんと見て記録を残してもらい、スタッフ間で情報を共有するように努めています。ぜひご家族の方も、当院にすべてを委ねてしまうのではなく、私たちと一緒に患者さんの回復を目指していただけたらうれしいです。

## 治療の基礎知識

近年は手術的治療が主流。  
術後すぐにリハビリを始め、  
寝たきりになるのを防ぎます。

### 手術を選択することが治療の基本です。

一般的に手術は怖いと思われ、保存的療法で治したいという気持ちは十分にわかりますが、保存的療法では骨癒合に数ヶ月もの長い時間がかかるため、身体が弱り様々な予期しない病気にかかるリスクがあります。無事に乗り越えたとしても体力の低下や変形して骨癒合するなど高齢者がそのまま寝たきりになるケースも少なくありません。

そのことから近年、世界では手術療法を選択するのが主流となっています。手術により早期からリハビリを行い、日常生活力のより高い回復をめざします。



大腿骨近位部骨折の手術例

### 骨折の状況に応じて最善の手術方法を選択。



現在は骨折部をより良くする機器が沢山あります。さらに骨折部とその周囲に対して侵襲が少ない手術方法や麻酔の仕方の工夫で以前より身体

への負担を少なく手術が行えるようになってきています。当然、保存的療法に比べて時期的に早期にリハビリを開始できるだけでなく、早期から質の高い歩行訓練を十分な量と時間でリハビリを受けていただけることが可能となります。

骨折の状態に応じて、十分にリハビリをこなせていただけるベストな手術を選択する事が、寝たきりになるのを防ぐだけでなく、より生活に戻り維持していただくために必要な医療と考えます。

### 患者さんの小さなサインを見逃さないように努めています。



認知症看護  
認定看護師  
細井裕加里

当院の患者さんの約3割が認知症の方で、認知機能に合わせた関わり方が大切だと感じています。「痛みがある」「眠れない」といった症状を言葉で訴えられないことも多いため、どこかをさする仕草や辛そうな表情、言動の変化など、小さなサインを見逃さないように心掛けています。

Talk  
01

### 自宅にお戻りになるまでずっと寄り添い続けます。



リハビリテーション  
技術科  
技士長  
矢野博貴

手術翌日から開始するリハビリでは、「せめてトイレは自分で」といった身近な目標を設定し、やる気を持っていただくことを大事にしています。また、ご自宅に直接お戻りになる患者さんには、よりよい環境でご帰宅できるように家族やスタッフとじっくりと話をし最後まで関わるようにしています。

Talk  
02



# 病院からのお知らせ

## 01 イオン八事店にて健康講座開催!

2019年2月からイオン八事店で健康講座を開催することになりました。2ヶ月に1回くらいの頻度で開催する予定です。当院の医師や看護師などの専門職による健康をテーマにした講座を開催することで、地域の皆様と一緒に健康維持増進と予防について考えていきたいと思えます。ぜひご参加ください。



### 開催予定

#### 1回目

**日時** 2019年2月20日(水)15時~16時30分(予定)

**内容** 知って得する病院のかかり方  
~診療所と病院のそれぞれの役割~(仮)

**講師** 病院長 森下剛久

#### 2回目

**日時** 2019年4月10日(水)10時~

**内容** 大腸がんに関すること(仮)

**講師** 内科医局長 野田久嗣(消化器内科)

※日時・内容等変更する場合があります。ご了承ください。

**場所** イオン八事店4階GG  
(グランドジェネレーションズ)モール イベントスペース

**お問い合わせ先** 聖霊病院 企画広報室

## 02 土曜日の午前中も 大腸内視鏡検査(日帰り)を実施します。

2019年1月から第2・4土曜日の午前中に大腸内視鏡検査(日帰り)が実施できるようになります。検査件数に限りがありますが、ご利用ください。なお、検査予約等は消化器内科の受診が必要となります。

詳しくは、内科外来でお尋ねください。

## 03 第1回聖霊病院地域医療連携交流会 を開催します。

来年度当院では、地域連携でお世話になっている診療所や病院の先生方との交流会の開催を予定しています。当日は第1部として、連携報告、講演会(大腸CTについて:当院内科野田医師)、各科の紹介を行い、第2部では交流を深めるための懇親会を行います。詳細については決まり次第ご連絡致します。ぜひ、ご参加いただきますようお願いいたします。

**日時** 2019年7月13日(土)15時~

**場所** 第1部 2号棟4階 第1・2会議室  
15時~16時20分  
第2部 聖霊ホール 16時30分~  
(軽食を用意します)

## 04 2019年のゴールデンウィーク 期間中の診療について

天皇陛下の退位と新天皇の即位に伴い、2019年のゴールデンウィークが長期連休となります。この期間中、当院は下記の日程で外来診療を行う予定にしております。

**外来診療を行う日** 2019年4月30日(火)  
2019年5月2日(木)

**診療時間** 9時~12時30分  
(受付時間:8時30分~11時30分)  
上記の時間帯以外は、  
救急外来での対応となります。

## 編集後記

日本には元号法という法律があり、元号は皇位継承があった場合に適応され、新たな元号に変わります。平成は中国前漢の武帝時代の司馬遷によって編集された歴史書である「史記」五帝本記の「内平外成」と中国最古の歴史書「書経」の「地平天成」つまり「国の内外、天地ともに平和が達成される」という意味があるそうです。平成も残りわずかとなってきました。今後も平成が保たれる世の中であって欲しいと願います。

企画広報室(加藤)